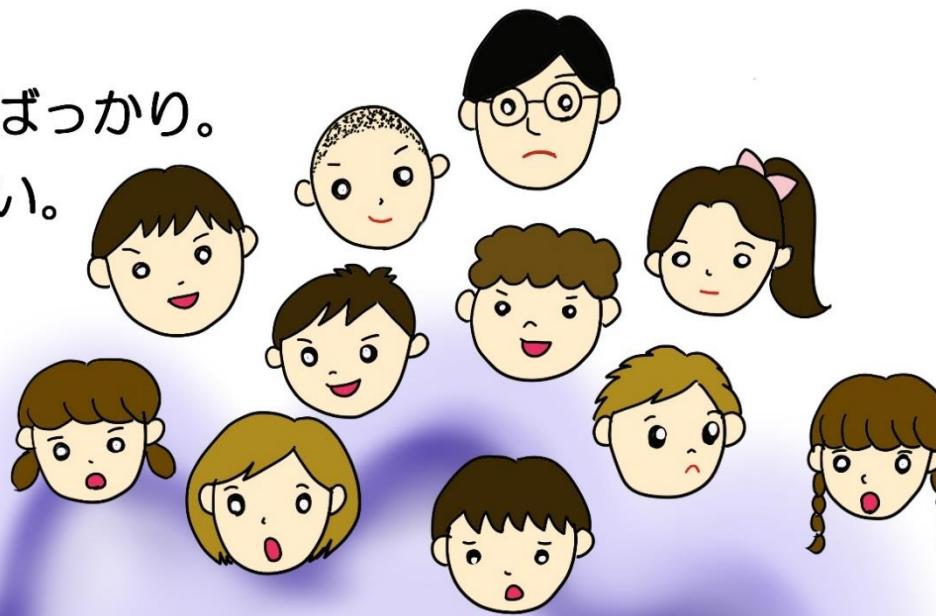
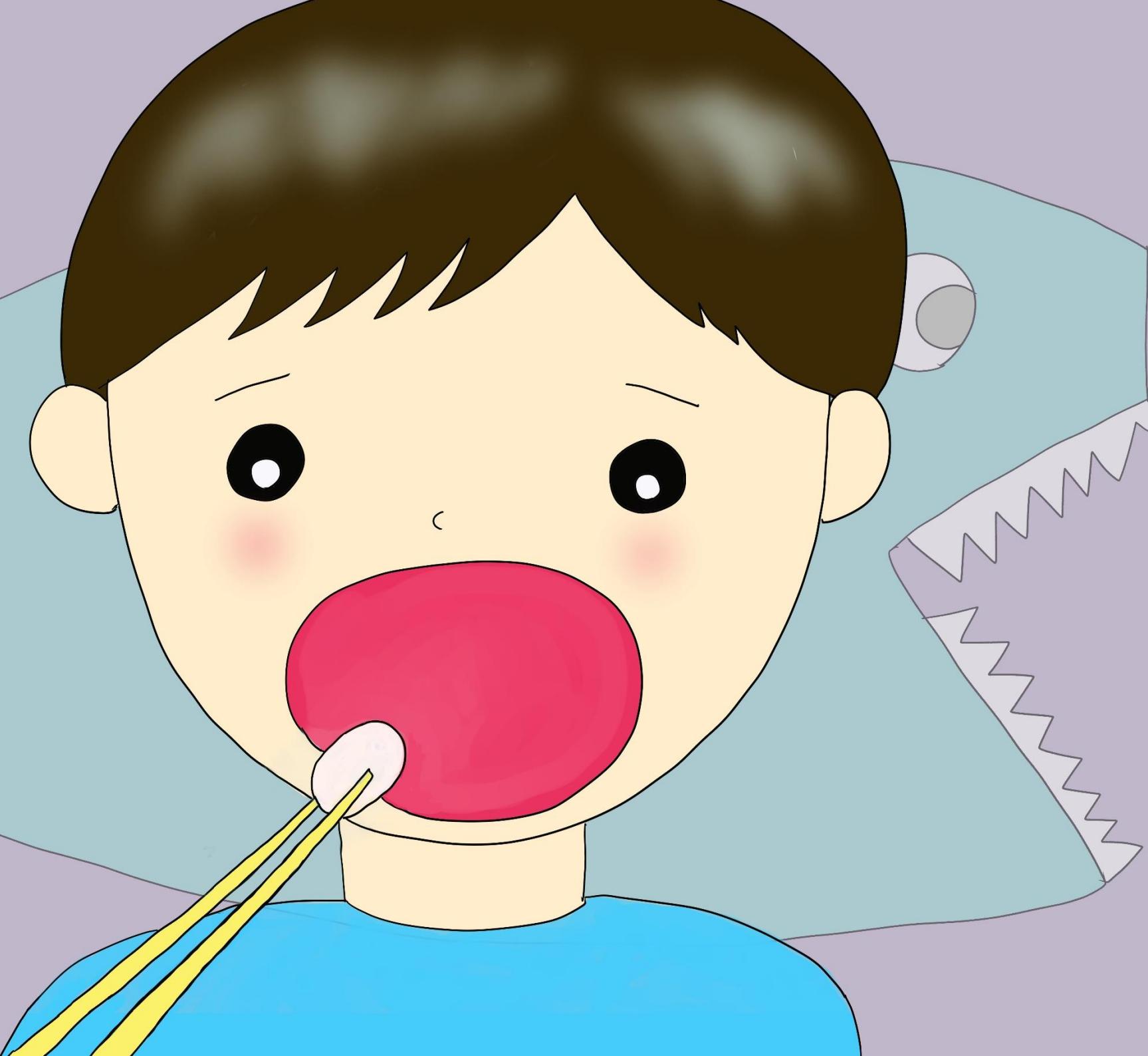


ぼくは、いつも誰かとケンカばかり。
みんな嫌いだし、元気が出ない。
何もしたくないなあ。



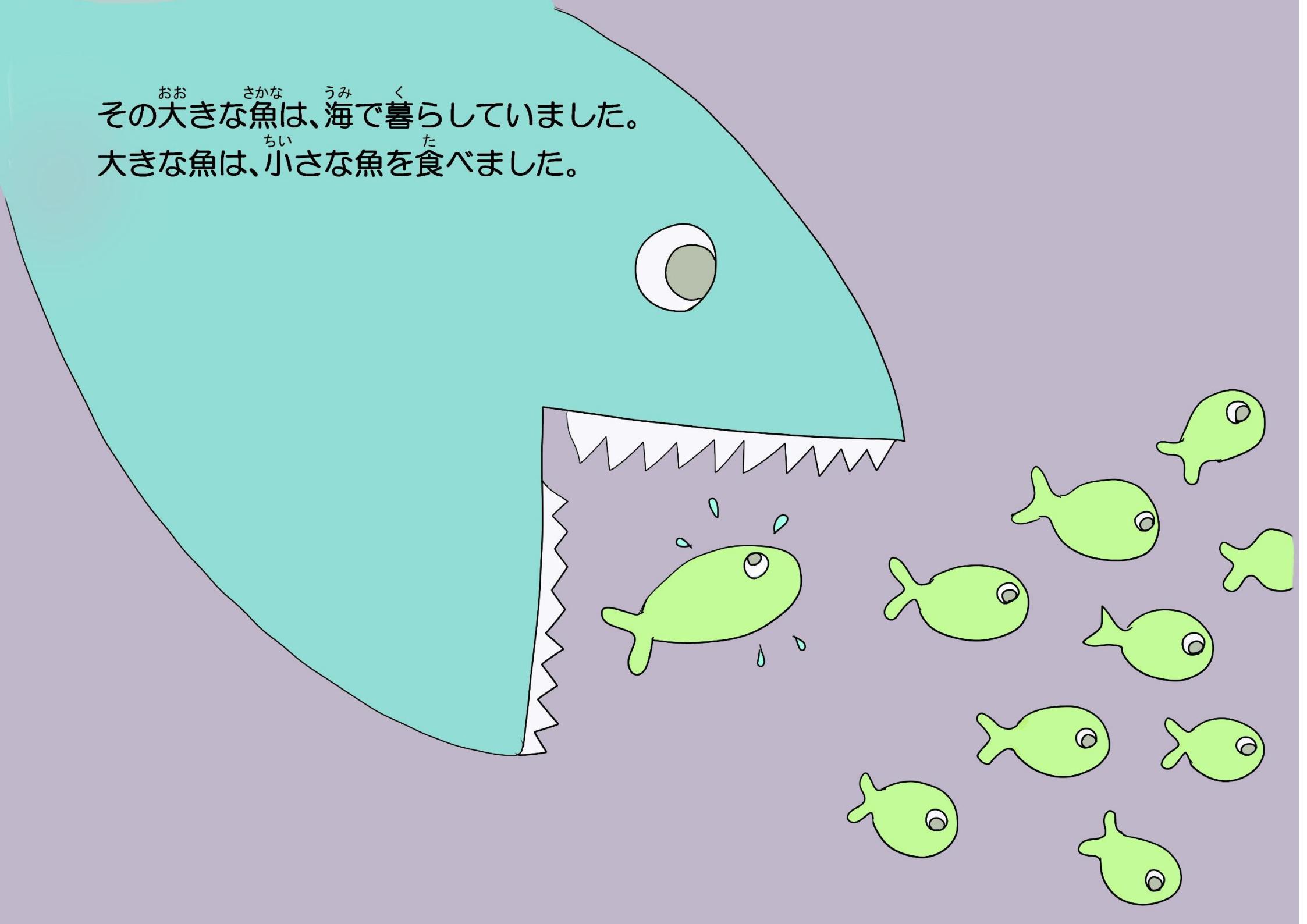
そんなぼく。

おお さかな
大きな魚を
た 食べました。



おお さかな うみ く
その大きな魚は、海で暮らしていました。

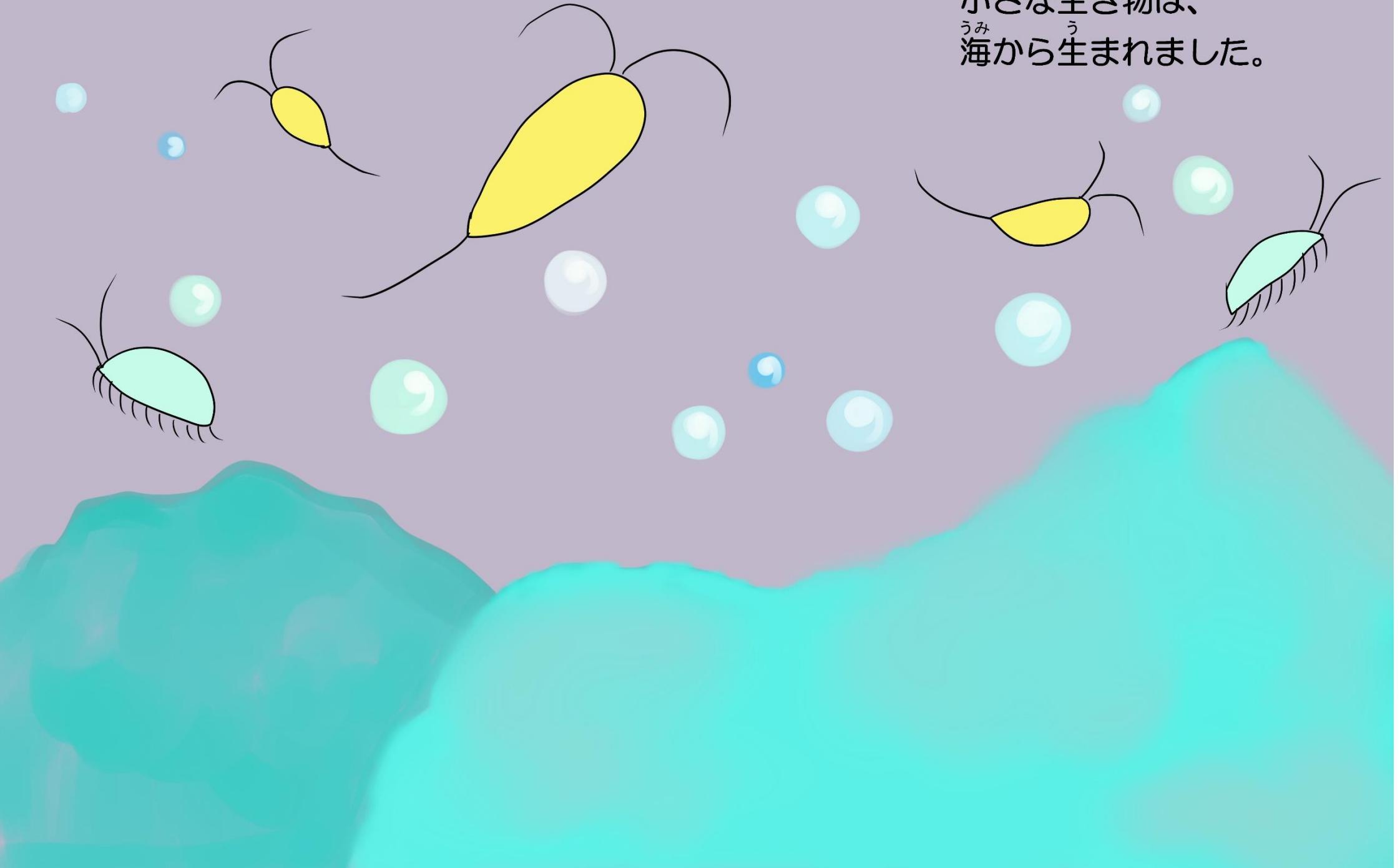
ちい た
大きな魚は、小さな魚を食べました。



ちいさかな
小さな魚は、
いものた
小さな生き物を食べました。



ちい い もの
小さな生き物は、
うみ う
海から生まれました。



うみ ちきゅう う
海は、地球から生まれました。



とき い
ある時、地球は言いました。
げんき で くる たす
「元気が出ない。苦しいよ…。助けて…。」

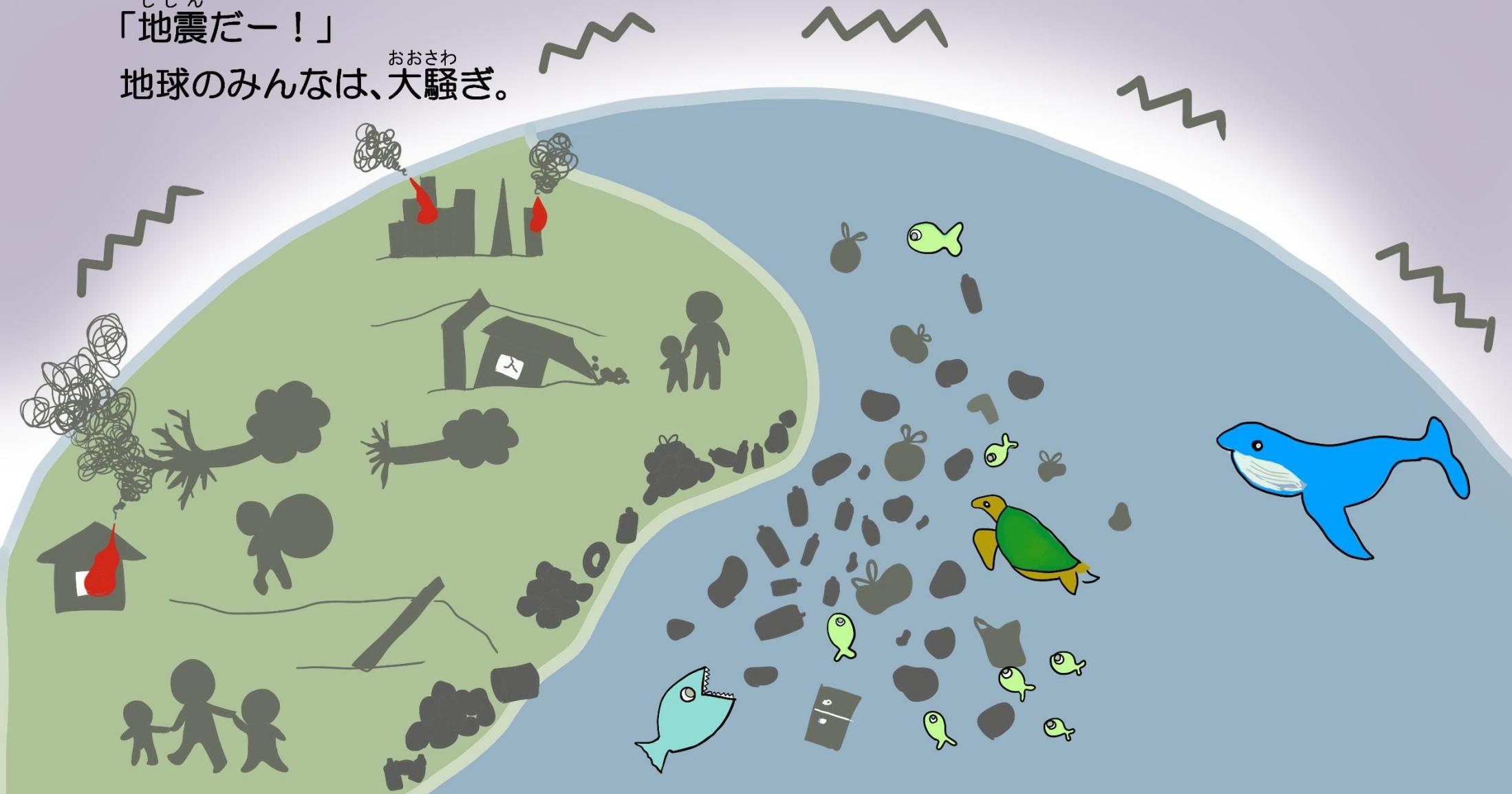
ちきゅう
地球は、どんどん汚れていきました。

そしてある時、とうとう我慢ができなくなって、

地球は体を震わせました。 ぶるぶるっ どどーん

「地震だー！」

地球のみんなは、大騒ぎ。



あめ かぜ
雨や風は、すべてをビューンと吹き飛ばしました。

たいふう なん
「台風だ！何とかしなくちゃ！」またまた みんなは大慌て。



まわりの星たちは、そんな友達を心配しました。

「地球の皆さん、地球さんを助けてあげてください！」

「とても、苦しんでいますよ。」

「気づいてあげてください。」

星たちは、何度も何度も、地球のみんなにお願いしました。





その声に、気づく人たちが出てきました。
「ねえ、何か聴こえない？」
「地球が苦しんでいるね。」
「このままでは、かわいそう。」
「そうだね、何とかしなくちゃ。」

そのたちは、
声をそろえて言いました。
「美しい地球を取り戻そう。」
「みんなで力を合わせれば、
できるよ！」

じかん すこ ちきゅう か
時間をかけて、少しづつ少しづつ、地球は変わっていました。

ねん とき
100年、200年…と時間がすぎました。

むかし うつく すがた と もど
地球は昔のように、美しい姿を取り戻していました。



い
地球は言いました。
「ああ、気持ちが良い。幸せだなあ。」

ちきゅう うみ はぐく

地球は、海を育みました。

